

令和2年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
1	「南海トラフ巨大地震」をはじめとする大規模災害に見舞われても、速やかに復興できるよう「事前復興」の取組みを促進してほしい。	大規模災害からの迅速かつ円滑な復興を実現するため、「事前復興」に関する県民意識の醸成を図るとともに、同取組みを推進する市町村を支援して参ります。	危機管理政策課
2	避難所の生活環境をもっと整備してほしい。	市町村が推進する避難所環境の整備に対し、「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業により、引き続き支援して参ります。	とくしまゼロ作戦課
3	消費者庁の新未来創造戦略本部の開設を契機に、県の消費者行政・消費者教育をより進化させてほしい。	消費者庁新未来創造戦略本部と連携した取組みの成果を実感していただけるよう、新次元の消費者行政・消費者教育の一層のレベルアップを図って参ります。 また、これらの取組みを通じて、霞ヶ関では実現しなかった国家的プロジェクトを徳島から全国に発信する流れを加速して参ります。	消費者暮らし政策課
4	加工食品に栄養成分表示が義務化されたが、その活用方法がわからない。	消費者庁や徳島県栄養士会と連携し、ライフステージ別セミナーを開催するなど、栄養成分表示を正しく理解し、自信の健康づくりに役立てられるよう、効果的な消費者教育を推進します。	安全衛生課
5	動物愛護管理センターに收容される犬・猫の殺処分をもっと減らして欲しい。	ボランティアとの連携による「広域譲渡」の他、收容される犬・猫を減らすために、不妊去勢手術やマイクロチップの装着等を推進します。	動物愛護管理センター
6	徳島県の政策に若者の意見を反映してほしい。	県内の高校生等が「徳島のいま」「徳島の未来」を考え、立場の異なる人々と率直に意見を交わす機会を設け、そこで得られた意見を毎年度の計画や事業見直しに反映して参ります。	総合政策課
7	高校生が徳島の魅力について学ぶ機会をもっと増やしてほしい。	高校生が最新の働き方や伝統文化に触れ、徳島の魅力を体感できる「高校生スタディツアーTOUCH! とくしま」の拡充を図って参ります。	地方創生推進課
8	私立学校に通う世帯の経済的負担を軽減する施策を充実させてほしい。	国の「高等学校等就学支援金」の拡充に呼应し、新たな上乘せ補助制度を創設し授業料の負担軽減を図って参ります。	総務課

令和2年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
9	「とくしま在宅育児応援クーポン」を利用できるメニュー(サービス)が少ないので、増やしてほしい。	クーポンが使えるメニューは、市町村が決定する仕組みになっており、令和2年度に、市町村と子育て支援サービスを提供する事業者をマッチングし、メニューの拡大を図る事業を実施して参ります。	次世代育成・青少年課
10	ひとり親家庭の子どもに対する学習支援について、中学生までの集合型としたり、親子で学べるようにするなど、参加しやすくしてほしい。	新たに、親子での英語講座を開催するとともに、学習支援を引き続き実施し、よりニーズに合った効果的なものとなるよう、実施方法の工夫を図って参ります。	次世代育成・青少年課 子ども未来応援室
11	徳島はバスや車が主な足なので、環境に優しいエネルギーを活用できれば良いと考えるため、徳島で燃料電池バスを導入していくべき。	県民の皆様へ「水素エネルギー」を実感していただくとともに、運輸部門の温室効果ガス排出削減を一段と加速させるため、関係機関と連携しながら民間事業者の燃料電池バス導入を促進いたします。	環境首都課 自然エネルギー推進室
12	同じ若者がどんな不安や悩みを抱えているのか知りたい。	サポート系サークルに所属する大学生等に協力していただき、ホームページやSNS等で若者の不安や悩みの共有化を図り、「自分だけじゃない」という安心感につなげて参ります。	保健福祉政策課
13	AYA世代がん患者の妊孕性温存に係る支援体制を整備してほしい。	AYA世代がん患者の妊孕性温存治療費に係る助成制度を創設するとともに、情報提供・相談支援やがん医療と生殖医療の医療従事者の連携の強化に取り組んで参ります。	健康づくり課
14	徳島県のジェネリック医薬品の使用割合を増やすために、医療機関にどのような働きかけをするのか。	ジェネリック医薬品の採用状況のデータから、切替えしやすく、使用率の高い医薬品をリスト化し情報提供すること等により、ジェネリック医薬品への切り替えを促して参ります。	薬務課
15	介護人材を確保するため、外国人留学生の雇用に関する支援策を講じてはどうか。	介護福祉士養成施設で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給する介護保険施設への補助制度を新たに創設します。	長寿いきがい課
16	障がいのある人が地域で安心して暮らせるよう取り組みを強化してほしい。	地域で、障がいのある方とその家族等が安心して生活できる「共生社会」の実現のため、地域の交流支援機能(ユニバーサルカフェ)と防災機能(福祉避難所)に加え、就労支援機能等を付加した「地域生活支援拠点」の整備を支援して参ります。	障がい福祉課

令和2年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
17	様々な創業支援機関の取組みを連携して進めてもらいたい。	産学官金言による「創業プラットフォーム」を構築し、連携した支援に取り組んで参ります。	企業支援課
18	次世代産業分野の産業振興に取り組んで欲しい。	本県の強みであるLED・次世代LEDをはじめ、ロボット技術や農商工連携、新素材関連(CNF、CFRP等)、健康・医療関連など、新たな成長産業の創出・振興に向け、製品開発や販路開拓等、県内企業の支援に取り組んで参ります。	新未来産業課 工業技術センター
19	海外の阿波おどり連が徳島で踊りを披露できるような機会を設けてほしい。	海外連の方々に演舞を披露していただく場として、「世界阿波おどりコンテスト(仮称)」を新たに実施したいと考えております。海外連の方々との交流・連携を通じ、阿波おどりの世界展開とより一層の誘客促進に取り組んで参ります。	観光政策課
20	現在使っている大豆収穫機を改造したタデ藍収穫機は、20年以上前に製造され、既に生産中止となっている。今使用している収穫機が壊れると、タデ藍(阿波藍)生産を続けていくことができない。	タデ藍(阿波藍)生産が継続、拡大できるよう、新たに開発したタデ藍専用収穫機の導入支援を行って参ります。	もうかるブランド推進課
21	家畜伝染病対策について、国内での「豚熱(CSF)」拡大や近隣諸国での「アフリカ豚熱(ASF)」の発生など、終息することなく徐々に拡がりをみせているが、県内への侵入防止対策を強化して欲しい。	従来の防疫対策に加え、県内侵入防止のため、空海港における靴底消毒等の水際対策を実施し、また、発生要因とされる野生鳥獣の監視及び対策を行うことで、「豚熱(CSF)」のみならず「アフリカ豚熱(ASF)」の発生予防対策についても強化して参ります。	畜産振興課
22	先端技術を活用し、効率良く漁業が営めるようにしてほしい。	ベテラン漁業者の「匠の技」を誰もが共有できるよう、AI技術を活用した漁海況予測システムを構築することで、操業の効率化に繋げて参ります。	水産振興課
23	高齢者や障がい者等が歩きやすい道路環境の改善に取り組んでもらいたい。	共生社会の実現に向け、駅などの公共交通機関や公共施設と接続する道路のバリアフリー化の推進を図るため、「点字ブロックの輝度改善」や「視覚障がい者誘導用横断帯(エスコートゾーン)」などの施設整備に取り組んで参ります。	道路整備課
24	歩道の植樹帯の樹木が生い茂り、車道まで繁茂してきているので剪定してほしい。	道路標識や交通信号の視認性の確保や、歩行者・自転車等の通行の安全確保のため、街路樹の定期的な剪定の実施により、安全・安心な道路環境の確保に取り組んで参ります。	道路整備課

令和2年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
25	道路の路面の状態が悪いので、舗装修繕してもらいたい。	効率的かつ計画的な道路の維持管理を推進するため、「公共施設等適正管理推進事業債」や「緊急自然災害防止対策事業債」を活用し、舗装補修を加速化して参ります。	道路整備課
26	通行の安全・安心を確保するため、落石対策に取り組んでもらいたい。	落石危険箇所の緊急総点検を実施するとともに、事前防災の観点から、「重要インフラに係る3か年緊急対策」や「緊急自然災害防止対策事業債」を最大限活用し、落石対策の推進を加速して参ります。	道路整備課
27	河川・海岸施設の地震・津波高潮対策を推進してほしい。	地震・津波による被害の軽減を図るため、河川・海岸の堤防や水門の地震・津波高潮対策を推進して参ります。	河川整備課 運輸政策課
28	インバウンド観光に積極的に取り組むなど、現在地域で活躍している方々の励みになるような取り組みをしてはどうか。	現在、インバウンド観光に積極的に取り組まれている方々のご活躍を映像化するとともに、その取り組みが次の世代にも引き継がれるようなきっかけづくりに努めます。	西部総合県民局
29	剣山の希少野生植物等の保護を担う人材を育成するため、季節による植生の変化や保全対策などを学ぶ現地研修の充実を図ってはどうか。	県内の植物研究の第一人者を講師として招へいし、座学による講義のほか、季節に応じて、現地研修を複数回実施し、希少野生植物の調査や保護を担う人材の育成に取り組めます。	西部総合県民局
30	雑穀の消費だけでなく、生産に対しても、関心を持ってもらう取り組みをしてはどうか。	「にし阿波」の農業・農村を活性化するため、徳島剣山世界農業遺産推進協議会と連携し、「雑穀振興大会」を開催します。	西部総合県民局